

備長炭電池カー

まずは、備長炭電池をつくりましょう。

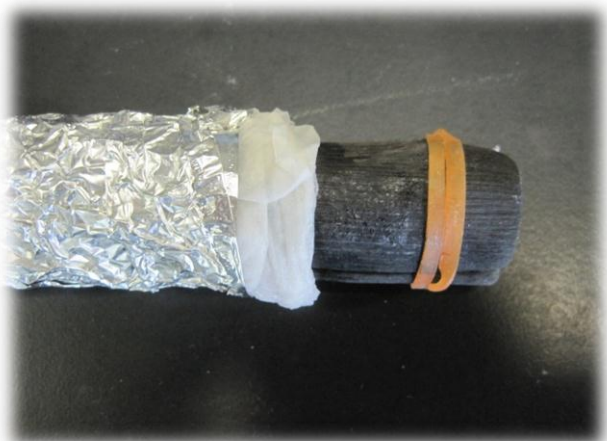


【材料】

- 備長炭
- キッチンペーパー
- アルミホイル
- 食塩
- 輪ゴム1本

【作り方】

- 1 飽和食塩水をつくる。
- 2 キッチンペーパーに飽和食塩水をしっかりしみ込ませる。
- 3 備長炭の片方5 cmぐらいをあけて、キッチンペーパーをまく。このとき、反対側はしっかり備長炭を包み込むようにする。
- 4 キッチンペーパーを1 cmほど見えるようにして、アルミホイルを巻く。このとき、アルミホイルと備長炭が直接接触れる状態になると電流が流れない。
- 5 備長炭の端に輪ゴムをまく。

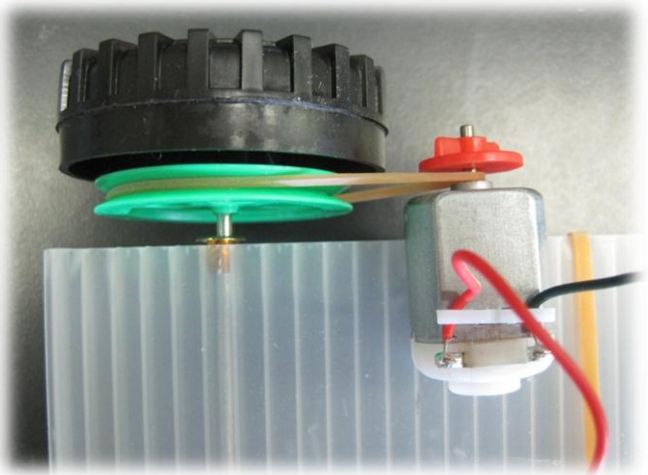
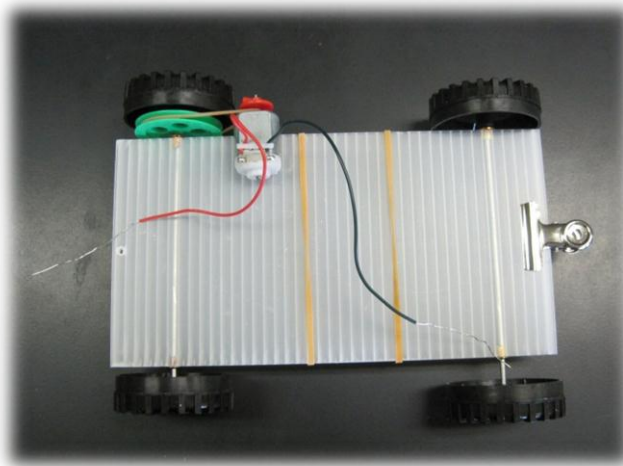


次に、車体をつくりましょう。



【材料】

- プラスチックダンボール 10×190
- タイヤセット
- モーター
- 輪ゴム2本
- 目玉クリップ1個



【作り方】

- 1 プラスチックダンボールに車輪を付ける位置を決め（タイヤがプラダンに引っかからない位置）、はどめを入れてから車軸を通す。このとき、片方には、プーリーを通しておく。
- 2 モーターに輪ゴムどめを付け、輪ゴムをかける。
- 3 モーターを両面テープで固定する。
このとき、プーリーとモーターにかかった輪ゴムが一直線になるように、
輪ゴムは、あまり伸びきらないような位置にモーターを固定する。
- 4 車体に輪ゴム2本をかける。目玉クリップは適当な場所に付けておく。

備長炭電池カーをつくりましょう。

その前に、備長炭が電池になっているのか電子メロディをつないで確かめてみましょう。備長炭が正極でアルミホイルが負極です。正極側は、輪ゴムで備長炭に固定します。



アルミホイルには、目玉クリップで導線を付けます。

ここの接触がうまくいかないと電流が流れません。

備長炭電池を2本の輪ゴムで固定します。

